

**高村京子**議員の9月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



## ＊ ＊国保運営の課題と国保料の軽減に向けて＊ ＊

**高村** 県内全世帯の約33%が国保世帯であり、高齢者などの年金生活者に加え非正規雇用者が増え、保険料は平均で所得の15%と負担は重く、受診を控えて重症化する人もいます。市町村ごとの格差が大きいこと等、構造的課題が他県と比較しても顕著である。高い保険料負担の負担軽減に向けて市町村との連携と国への働きかけをしていただきたい。

**健康福祉部長** 均等割軽減は今年度4月から就学前の幼児が半額軽減となり、6611世帯、8686人が軽減された。さらに対象範囲等の拡大を求めていく。コロナによる減免を受けたのは、R元年度からR3年度で6674世帯で、来年度以降も継続を国に求めている。今後も国の財政支援の維持・拡充を国に要望していく。

## ＊ ＊長野県森林づくり県民税の検証について＊ ＊

**高村** 森林づくり県民税は現在3期目で今年度で終了する。3期目では林務部以外の事業にも拡大された。次期は再造林事業に大きくシフトする方向で、今までの年間250haから1000haへ拡大する計画だが、マンパワーは確保できるのか。国による森林環境税と負担も重なる中で、次期森林づくり県民税活用事業は、一般財源を充てるべきでは。

**林務部長** 森林税活用で多様な県民ニーズにこたえてきた。造林事業のマンパワーは多様な林業の担い手の確保に向けた検討を進めて対応する。県の財政状況は厳しい状況が続いており、一般財源等のみでは難しい。喫緊重要な施策を進める上で重要な財源として森林づくり県民税の延長をお願いしたい。県民には丁寧に説明をしていく。

## ＊ ＊高校改革・高校再編等について＊ ＊

**高村** 高校再編計画では地域に根付いた高校がなくなる、普通高校がない地域が広がるなどたくさんの懸念がある。住民説明会を重ねているが、多くの県民が知らない。もっと現場の教職員や子育てをしている世代にも広く周知し、関係者の意見を聞いてほしい。

**教育長** 各校に準備委員会等を組織し、教職員が校内議論を重ね新たな高校づくりを進めている。小中学校等に周知し住民説明会やホームページで説明動画を公表し、意見募集もしている。

**高村** 高校の老朽化が進んでいる。特にトイレの洋式化は学校環境の充実に重要であり、改修計画は。

**教育長** R元年度に調査し、R2年度から順次計画的な整備に取り組んでいる。

### ＊質問を終えて＊

国の森林環境税1人年間千円が再来年から…。森林づくり県民税1人500円も間伐から再造林にシフトして継続したいと知事は言います。森林整備はずっと必要ですが、特別税を重ねることはどうなのでしょう。

